

任期満了に伴う南部町長選挙は無投票再選で、佐野和広氏（71）が南部町長となりました。また、4月24日（月）に行われた当選証書附与式において、石川茂選挙管理委員長から当選証書が手渡されました。

佐野和広町長 就任の挨拶

任期満了にともなう町長選におきまして、無投票にて4選を果たしました。

振り返りますと3期12年は私の中ではあっという間に過ぎ去ったように感じます。これまで自分の掲げた公約を実現する為に全力で町政に向き合い、それなりの実績を積み上げてまいりましたが、私の目指す町の姿には未だ至っておりません。

狭隘で平坦な地が少ない本町は大きな企業誘致には不向きであり、観光に町の活性化を望んでも目玉となるものが少なすぎます。そこで当初から本町の進むべき道は教育と

文化と福祉の充実を図りながら近隣都市（富士、富士宮、静岡）へのベッドタウン化であると考えておりました。その為にこれまで他の自治体に先がけて「教育支援センター」や「なんぶ未来塾」の開設、手厚い子育て支援、介護予防拠点の充実など「住みやすい町づくり」に力を注いでまいりました。

コロナ禍以降、人々の生活様式が変わり、昨今はアウトドア派を中心に本町の自然環境の良さが見直され、キャンプ場の賑わい、癒しを求めて温泉施設に多くの人々が訪れるようになり、さらには宿泊施設の開設も計画されていると聞いております。これも中部横断道の全線開通や交通アクセスの向上が寄与しており

ます。また、4月28日には国道52号線の雨量規制が大幅に緩和され、さらに、今年度中には永年の念願だった富士川かりがね橋が完成致します。これによりこれまで行ってきた事業が多くの人々に知れ渡り、本町の良さが再確認されることにより、定住人口の増加に繋がるものと期待しております。

「お年寄りに暖かい風を、子ども達には優しい風を」を基本理念として、これから先



石川茂選挙管理委員長から当選証書を附与



初登庁お出迎

も持続可能な町であり続けるために常に時代の変化に対応できる多様性（diversity）と共創（co-creation）を意識しながら地に足が着いた施策を推し進めてまいります。町民の皆様のご期待に応えるよう、全力で4年間を走り抜けます。何卒従前にもまして、ご支援、ご協力を賜わりますことをお願い申し上げます、再任にあたりましてのご挨拶と致します。

南部町長 佐野和広